

4

2013年度中部圏大学 人材育成チャレンジ報告



2013 年度中部圏大学人材育成チャレンジ報告

1. 大学名 豊橋創造大学

2. 事業を遂行するうえで現在達成しようとしている目標

社会人基礎力養成のための教育改善体制の確立

3. 分類（該当する項目すべてに☑）

- | | | |
|---|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング | <input checked="" type="checkbox"/> インターンシップ | <input type="checkbox"/> 産業界ニーズの把握 |
| <input type="checkbox"/> 地域・産業界との連携 | <input checked="" type="checkbox"/> 学内コンセンサス | <input checked="" type="checkbox"/> 教育組織・体制整備 |
| <input checked="" type="checkbox"/> FD・SD・教職員研修 | <input checked="" type="checkbox"/> 評価 | <input type="checkbox"/> 基礎学力 |
| <input type="checkbox"/> 学生の質の変化 | <input type="checkbox"/> 初年次教育・研修 | <input type="checkbox"/> リーダーシップ |

4. 目標を達成するための課題

社会人基礎力養成に係る教育効果測定（評価）・指導方法を確立し、その実践内容の共有化による整合性ある教育を展開する。また、大学に対する社会的要求を実現するために必要な継続した教育改善を行う体制を確立する。

5. 課題の分析

- ①社会人基礎力養成について組織的な実施方法が未確立である
 - ・現状把握と整理
 - ・評価と指導方法のあり方についての原案作成
- ②社会人基礎力養成の必要性に対する教員意識のばらつきが大きい
 - ・評価と指導方法、および課題の共有
 - ・教育技量の向上
 - ・整合性のある教育の展開
- ③大学に対する社会的要求を実現するための継続した教育改善を行う体制に対する理解・認識不足
 - ・大学教育と社会的要求とのギャップ
 - ・社会的要求の理解と学内共有
 - ・社会的要求を実現するための教育改善に関する知識・情報・経験不足

6. 課題を克服するチャレンジ事項

- ①社会人基礎力養成に係る評価と指導のあり方検討ワーキンググループの設置
 - ・評価と指導方法の現状整理と原案作成（課題①、②、③への対応）
 - ・PROGを用いた定量的評価と具体的活動における学生自身・教員・プロジェクトメンバー間の評価との相違に関する調査、分析（課題①への対応）
 - ・1, 2年次のキャリア形成科目における社会人基礎力育成の展開（課題①、②、③への対応）
- ②教育力向上研修会の実施
 - ・事例を中心として育成すべき資質と指導方法の共有（課題②、③への対応）
 - ・主体的学習を引き出す指導方法を実施する上での課題の共有と解決策の検討（課題②、③）
（アクティブラーニングの展開方法やプロジェクト活動の運営方法に関する情報・意見交換）

- ③大学に対する社会的要求を実現するために必要な継続した教育改善を行う体制の確立
 - ・社会的要求の把握（課題②、③への対応）
 - ・社会的要求を実現するための教育改善に関する研修会等への参加（課題②、③への対応）
 - ・連携大学における取り組みや効果に関する学内共有（課題②、③への対応）

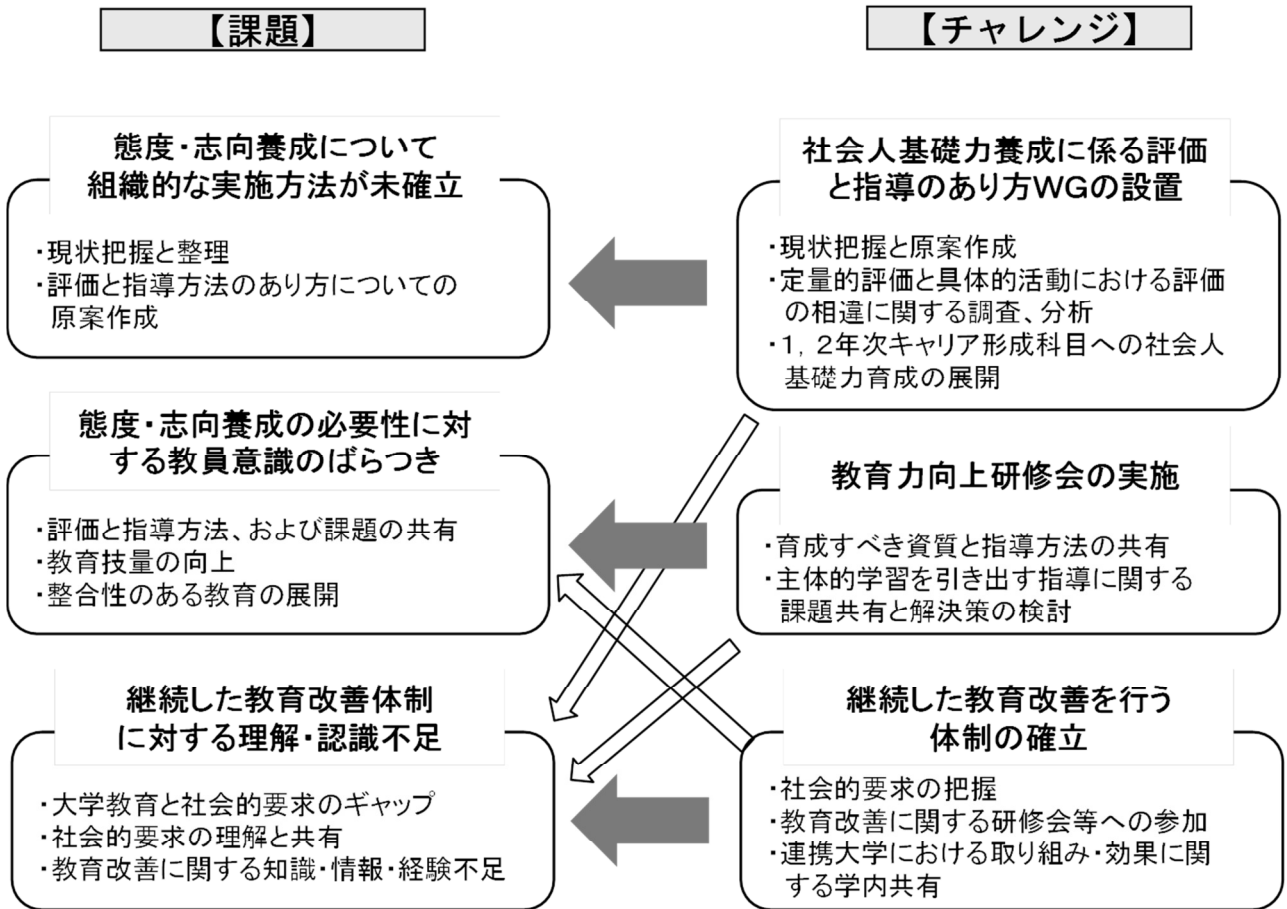
7. 現時点でのチャレンジ実績

- ①社会人基礎力に係る評価と指導のあり方検討ワーキンググループの設置
 - ・評価と指導方法の現状整理と原案作成（課題①への対応）
 - ⇒前期に検討し、今後実施、実施結果に基づき内容改訂の予定
 - ・PROGを用いた定量的評価と具体的活動における学生・教員・プロジェクトメンバー間の評価との相違に関する調査、分析（課題①への対応）
 - ⇒継続中
 - ・1, 2年次のキャリア形成科目における社会人基礎力育成の展開（課題①、③への対応）
 - ⇒秋学期に実施予定
- ②教育力向上研修会の実施
 - ・事例を中心として育成すべき資質と指導方法の共有（課題②、③への対応）
 - ⇒6月7日に学内で開催した『教育力改革フォーラム』（第1回教育力向上研修会）にて実施済
 - ・主体的学習を引き出す指導方法を実施する上での課題の共有と解決策の検討（課題②、③）（アクティブラーニングの展開方法やプロジェクト活動の運営方法に関する情報・意見交換）
 - ⇒10月および2月に開催予定の第2回・第3回教育力向上研修会にて実施予定
- ③大学に対する社会的要求を実現するために必要な継続した教育改善を行う体制の確立
 - ・社会的要求の把握（課題②、③への対応）
 - ⇒10月および12月に産業界ニーズ把握のための座談会を実施予定
 - ・社会的要求を実現するための教育改善に関する研修会等への参加（課題②、③への対応）
 - ⇒連携FDや研修会に随時参加
 - ・連携大学における取り組みや効果に関する学内共有（課題②、③への対応）
 - ⇒連携FDや研修会参加後に随時学内共有
 - ⇒10月および2月に開催予定の第2回・第3回教育力向上研修会にて共有予定

8. 中部圏産学連携会議等を通して、地域・産業界とともに検討したい課題

社会人基礎力に係る教育効果測定（評価）と指導方法について本学の取り組みを提示し、社会人基礎力のような態度・志向の育成や評価方法はどうあるべきか、ともに考えご意見をいただきたい。

目標：社会人基礎力養成のための教育体制の確立



以上

